

## 財団法人南北海道学術振興財団の概要

- 設立目的 南北海道地域における学術研究の振興による人材育成、および地域の学術、教育、文化、産業の発展に寄与すること。
- 事業内容 情報科学を中心とする学術研究・交流支援事業、学術研究成果の普及、および科学技術の啓発事業。
- 基本財産 3億4,120万円

## 役員名簿 [平成25年4月1日就任予定者]

| 役 職   | 氏 名     | 備 考                    |
|-------|---------|------------------------|
| 理 事 長 | 山 崎 文 雄 | (財)北海道国際交流センター代表理事     |
| 副理事長  | 山 口 道 雄 | 北海道高等学校PTA連合会道南支部顧問    |
| 理 事   | 穴 戸 雄 一 | 函館市文化団体協議会会長           |
| 理 事   | 新 木 秀 幸 | 檜山管内教育委員会連絡協議会教育長部会長   |
| 理 事   | 田 中 健 一 | 渡島町村教育委員会教育長会会長        |
| 理 事   | 中 島 栄 一 | 南北海道創才教育推進会会長          |
| 監 事   | 西 谷 裕 幸 | 北海道税理士会函館支部長           |
| 監 事   | 村 瀬 充   | 函館商工会議所産学官連携促進委員会委員長   |
| 評 議 員 | 岩 熊 敏 夫 | 函館工業高等専門学校長            |
| 評 議 員 | 酒 井 康 次 | 函館商工会議所専務理事            |
| 評 議 員 | 嵯 峨 直 恆 | 北海道大学大学院水産科学研究院長・水産学部長 |
| 評 議 員 | 中 林 重 雄 | 函館市副市長                 |
| 評 議 員 | 三 浦 汀 介 | 北海道立工業技術センター長          |
| 評 議 員 | 山 本 真 也 | 函館市教育委員会教育長            |

## 平成23年度の収支決算

| 収入の部       |           | 支出の部            |           |
|------------|-----------|-----------------|-----------|
| 科 目        | 決 算 額     | 科 目             | 決 算 額     |
| 基本財産運用収入   | 2,206,241 | 事業費             | 2,563,050 |
| 特定資産運用収入   | 780,101   | 管理費             | 158,708   |
|            |           | 当期支出合計(C)       | 2,721,758 |
| 当期収入合計 (A) | 2,986,342 | 当期収支差額(A)-(C)   | 264,584   |
| 前期繰越収支差額   | 2,227,844 | 次期繰越収支差額(B)-(C) | 2,492,428 |
| 収入合計 (B)   | 5,214,186 |                 |           |

(単位:円)

## 賛助会員募集

財団法人南北海道学術振興財団の事業趣旨をご理解いただき、ご支援をいただきたく、賛助会員を随時募集しております。

賛助会員へは、財団が行う各種事業のご案内の送付や、財団の会報の無料送付などをさせていただきます。年会費は、法人会員:20,000円、個人会員:5,000円となっており、どなたでも会員になることができます。

会員申込やお問合せは、事務局までご連絡下さい。

財団法人

南北海道

学術振興財団ニュース

南北海道学術振興財団は、南北海道地域での学術研究の振興を図り、科学技術の進展を担う人材の育成と地域の学術、教育、文化、産業の発展のために活動しています。

第13号

平成25年3月発行

人と科学の未来のために

Human  
&  
Science



サイエンスライブ2012  
「森と科学のお話～プレミアムな夜に乾杯!～」

## 平成24年度の実施事業

### 1 学術研究および学術交流の支援にかかわる事業

#### ■研究費助成

道南圏の大学等における先端的な学術研究に対し、1事業につき100万円を上限として助成しました。

- 「構造物モニタリング用長短周期振動検出センサネットワークの研究」  
…函館工業高等専門学校教授 藤原 孝洋
- 「ネズミイルカ混獲防止警報音開発に関わる研究事業」  
…北海道大学大学院水産科学研究院准教授 松石 隆

#### ■学会等参加経費助成

道南圏の大学等の教員が行う海外の学会への参加、視察に対し、1事業につき20万円を上限として助成しました。

- 「国際木質構造工学会議(WCTE2012)への参加・発表」  
…函館工業高等専門学校教授 平沢 秀之
- 「第7回国際魚類内分泌学シンポジウム参加」  
…北海道大学大学院水産科学研究院講師 清水 宗敬
- 「国際会議PCST(Public Communication of Science and Technology)2012への参加」  
…公立はこだて未来大学特任教授 田柳 恵美子
- 「国際シンポジウム NOLTA2012への参加・研究発表」  
…北海道教育大学函館校教授 金光 秀雄
- 「第59回国際地域学会北米大会参加」  
…北海道教育大学函館校准教授 川本 清美

#### ■留学経費助成

道南圏の大学等の学生、大学院生が行う海外への留学に対し、1事業につき30万円を上限として助成しました。

- 「釜慶大学校への留学」  
…北海道大学水産学部海洋資源科学科 西田 大祐

※申請時の役職名を記載しています。共同研究は、研究代表者名を記載しています。

### 2 学術研究成果の普及および科学技術の啓発にかかわる事業

#### ■情報科学セミナー開催

- サイエンスライブ2012「森と科学のお話～プレミアムな夜に乾杯!～」  
※はこだて国際科学祭2012のプログラムとして開催  
サッポロビール株式会社と函館市と共催で、環境貢献の新しい仕組みである「カーボンオフセット」の取り組みについて、国内第1人者をお招きし、科学的な視点で解説をいただきました。  
後半は、北海道出身のアーティストによるアコースティックライブと美味しいビールを楽しみました。



開催日 平成24年8月18日(土)  
会 場 五稜郭タワーアトリウム  
出演者 長谷川 勝也(北海道ECO推進協議会副会長)  
ALvino翔太(アーティスト)  
中田 雅史(アーティスト)

参加者 150名

参加者の声

- カーボンオフセットのお話を聞いてとても参考になり、感動しました。
- 小さなことでも一人ひとりがエコを実行することの大切さを改めて実感しました。
- 森を守る取り組みを聞いて、住みやすい世の中を作ることが我々の使命だと感じました。
- 問題意識を持ちながら参加できるイベントで最高!

### 3 海外留学を振り返って

北海道大学水産学部 西田 大祐  
留学先 釜慶大学校(韓国)  
留学期間 平成24年3月～平成25年2月

約1年間、韓国の釜山にある釜慶大学校に交換留学をしました。  
研究テーマは「韓国におけるトロール漁具の変遷と今後の展開」というテーマで、過去の研究論文による調査やシミュレーションソフトによる解析を行い、研究成果は、平成25年2月の北海道大学水産学部卒業論文発表会で発表しました。

南北海道学術振興財団様のおかげで、有意義な留学生活を送ることができました。

### 4 平成25年4月1日に、公益財団法人へ移行します。

当財団では、国の公益法人制度改革への対応方針について、理事会・評議員会で協議を重ね、公益財団法人へ移行することを決定し、平成24年12月に北海道へ移行認定申請を行いました。

その後、北海道公益認定等審議会の審議を経て、平成25年3月21日付けで、北海道知事から認定通知を受けましたので、平成25年4月1日から「公益財団法人南北海道学術振興財団」として、新しいスタートを切ることになります。

今後も、公益財団法人としての責任を持って、南北海道の学術の振興に向けた事業を展開してまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

